バッハ・ターゲに寄せて

三澤 洋史

「21 世紀のバッハ」を掲げる東京バロック・スコラーズは、これまでにも講演会と演奏会のカップリングなどでユニークさを打ち出してきたが、二日間に渡る二つのレクチャーと合同演奏会を含むこのバッハ・ターゲこそが最も当団らしい独創的な活動となる。これが新たなバッハへのアプローチの潮流を作り出していくことを願っている。
バロック時代は、それまで世俗音楽だけのものであった「舞踊と結びついた生き生きとしたリズム」と「ヴィルティオーゾ達の華々しい技巧」が、純音楽、特に宗教音楽の世界にもたらされた画期的な時代だ。「バッハの舞曲を踊ってみよう」は、バロック・ダンスを体験することで新しいバッハへの視点が生まれることをめざして取り入れた。「初めてのバッハ」でもその舞踊性に触れてみる。第二日目のバッハ・フェストでは、「声楽のブランデンブルク協奏曲」とも言われている 6 曲のモテットが、それぞれの団体の特色を生かして紹介される。バッハのモテットの独創性は、その舞踊性と共にコラールの導入とその扱い方にある。バッハを愛する様々な団体と、その演奏方法のあり方について議論するパネル・ディスカッションは必見。

各団紹介（文中敬称略）

アンサンブルクライス
Vokalensemble 'Kreis' Tokyo

少人数の精緻なヴォーカルアンサンブルを目指して、1993 年に結成された合唱団。
「クライス」とは「ジング・クライス（歌のサークル）」のことで、ドイツ語文化圏との密接な結びつきを表している。クライスは常任指揮者を置かず、およそ 5 年のサイクルで新しい指揮者を迎えている。これまでの歴代の指揮者はヴァルター・ヨハネス・ベック、樋口隆一、常森闘志の各氏で、現在は四代目の宇野徹哉氏。レパートリーはルネサンス期のアカペラ作品とバッハを中心としたバロック期の宗教合唱曲が中心であるが、そのほか「現在の作曲家」の作品など幅広く取り上げている。団員数はプロアマ含めて 30 名（女声 19 名、男声 11 名）。
主宰・合唱指導吉田真康氏、ヴォイストレーナー平川聡子氏、ピアニスト荒木治子氏。

ガーデンプレイスクワイヤ（GPC）

Bach Groovin' Choir
（バッハ・グルービン・コアー）

“バッハターゲで、モテットを歌いましょう。”指導者、大貫浩史の呼びかけによって、2009 年 3 月に当団は発足しました。歌の仲間・同級生・先輩後輩・夫婦・親子 etc・・・・全員が団員の紹介によって集まった、人のつながりの深い合唱団になりました。
団名の Grooving は、指導者が目指すバッハの音楽“高揚した前ノリ感”を表した言葉です。グルーヴ感あふれるバッハを皆様に届けられるような演奏を目指します。

1996 年 7 月公開オーディションにより結成。合唱経験者の社会人を中心に 50 名が在籍。サッポロビール（株）の文化支援対象団体として、同本社内の恵比寿麦酒記念館を本拠地に、「質の高い音楽を」をモットーとして活動を行っている。
昨年（2008 年）の活動としては、恵比寿麦酒記念館にてバッハ「モテット 1 番」他（1 月）、東京オペラシティにてバッハ「マタイ受難曲」（6 月）、東京都北区主催北とぴあ国際音楽祭 2008 に参加（10 月）、クリスマスファミリーコンサートを開催（12 月）したほか、サンマリノ高校室内合唱団日本公演に特別出演（4 月）、東京都合唱連盟主催講習会に協力（7 月）など。今年も、1 月に相模原天地創造合唱団とハイドン「天地創造」を共演、5 月にヘンデル「Dixit Dominus」他を演奏、8 月 5 日にはフェスタサマーミューザ川崎にて広上淳一氏が指揮する日本フィルハーモニー交響楽団とハイドン「テ・デ ウム」を共演するなど、積極的な活動を行っている。
常任指揮者には創団時より中島良史氏が就任。過去には本山秀毅氏（2003 年 7 月）、大谷研二氏（2006 年 11 月）、三澤洋史氏（2008 年 6 月）らを客演指揮者として招聘し、演奏会を開催。昨年からは中島良史氏に加え、櫻屋敷滋人氏（今回指揮、パネリストとして出演）にもご指導頂いている。

明治学院バッハ・アカデミー合唱団

J. S. バッハ没後 250 年にあたる西暦 2000 年、これを記念して設立。白金校舎チャペルを拠点とし、バッハの作品を中心にした年数回の定期演奏会を行なっている。「マタイ受難曲」初期稿のライブ録音を世界初 CD 化し、国内外で高い評価を得た。明治学院関係者にとどまらず、東京周辺在住のバッハ好きたちが、毎週月曜の夜、島崎藤村も学んだ明治学院記念館に集まり、樋口隆一の指導でバッハを歌っている。
2006 年、ライプツィヒ国際バッハ音楽祭出演。
http://www.meijigakuin.ac.jp/event/bachacademy/about.html

東京バロック・スコラーズ
Tokyo Baroque Scholars（TBS）

音楽監督三澤洋史氏のもとで「21 世紀のバッハ」を追求しようという志を共有する合唱団。オーディションによって選ばれたアマチュアからなる。
演奏のみならず、公開レッスンや講演会など、多角的な活動を行っている。また、バッハを愛好する個人や団体とのネットワークを広げ、バッハ探究のセンターとなることを目指している。

東京バロック・スコラーズ　第 1 回バッハ・ターゲプロジェクト

Bach Tage
― バッハ・ターゲ ―

第 1 日 2009 年 8 月 8 日（土）
バロックダンスと講演会
江東区文化センター

市瀬陽子によるバロックダンス講座
《バッハの舞曲を踊ってみよう！》
開　演 14:00　開場 13:30
聴講料　1,000 円 ※全席自由
受講料　2,000 円 ※事前申込制

三澤洋史によるバッハ入門講座
《はじめてのバッハ》
開　演 18:30　開場 18:00
受講料　1,000 円 ※全席自由

バッハ愛好 5 団体による
《モテット全曲演奏と
パネルディスカッション》
開　演 13:30　開場 13:00
料　金　1,500 円 ※全席自由

ティアラこうとう大ホール
バッハ・フェスト（バッハ祭）
第 2 日 2009 年 8 月 9 日（日）

主催：東京バロック・スコラーズ　TEL　090-6034-2138 ／ Mail　tbs-concert@misawa-de-bach.com
URL　http://misawa-de-bach.com/　東京バロック・スコラーズ　検索

2009年8月8日（土）　第1日　バロックダンスと講演会

市瀬陽子によるバロックダンス講座
《バッハの舞曲を踊ってみよう！》

「バロックダンス」のことを何も知らなくても「メヌエット」や「ガボット」という名のつく曲を、どこかで聴いた方もいらっしゃるでしょう。
バッハの時代には、これらは「舞曲」として宮廷舞踏会等で華やかに踊られていました。
この舞踏のための曲のリズムやテンポを身体に取り込み、音楽を身体で表現してみませんか。

講師の市瀬陽子先生はバロックダンスの第一人者。15～18世紀のヨーロッパ宮廷舞踏、音楽劇、バレエ作品等を研究し、舞台の制作・上演を行う他、聖徳大学准教授、東京藝術大学講師、昭和音楽大学バレエ研究所研究員として後進の指導にあたられています。

講師
市瀬 陽子

チェンバロ
土居 瑞穂

● 内　　容

レクチャー「バロックダンスとは？」

レッスン　「舞台に上がってのステップ練習～チェンバロ生演奏による舞踏」

※ レッスン受講には事前申込が必要です。（小学生以上）
※ 客席で聴講されるだけの方にも手を叩く等の参加があります。

● レッスン受講または聴講申込＆問い合わせ先

Mail tbs-concert@misawa-de-bach.com ／ TEL 090-6034-2138
URL　http://misawa-de-bach.com/

バッハの音楽がいかに舞曲の様式と結びついているかを体験するチャンスです！
ダンスウェア等も不要ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

三澤洋史によるバッハ入門講座
《はじめてのバッハ》

バッハの音楽はどうも苦手だという人はいませんか？

モーツァルトのように単純じゃないし、ベートーヴェンのように情熱的じゃないし、ショパンのようにロマンチックでもない。

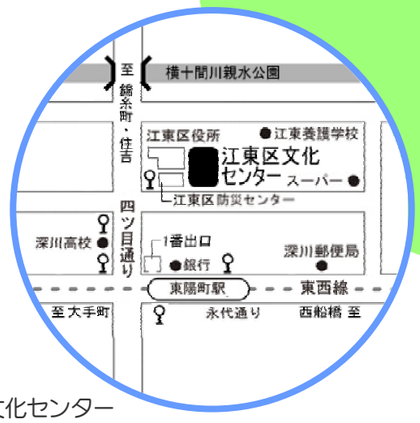
そんな人に「え？　こんな一面があったの？」と知られざるバッハの魅力を探り、鑑賞のポイントを解き明かします。

初心者のみならずバッハ好きや専門家にも興味深い内容になっています。

ピアノ：三澤 志保

● 受講申込＆問い合わせ先

Mail tbs-concert@misawa-de-bach.com ／ TEL 090-6034-2138
URL　http://misawa-de-bach.com/



江東区文化センター
〒135-0016 東京都江東区東陽4-11-3
TEL 03-3644-8111
地下鉄 東京メトロ東西線
「東陽町」駅 1番出口より 徒歩5分

2009年8月9日（日）　第2日　バッハ・フェスト（バッハ祭）

バッハ愛好5団体による
《モテット全曲演奏とパネルディスカッション》

● 各団による演奏

曲　　目	演奏と指揮
モテット第1番 BWV225 “主に向かって新しい歌を歌え”	演奏：アンサンブルクライス 指揮：宇野 徹哉
モテット第2番 BWV226 “聖霊はわれらの弱きを助けたもう”	演奏：東京バロック・スコラーズ 指揮：三澤 洋史
モテット第3番 BWV227 “イエスよ、わが喜び”	演奏：ガーデンプレイスクワイヤ 指揮：櫻屋敷 滋人
モテット第4番 BWV228 “恐るることなかれ、われ汝とともにあり”	演奏：Bach Groovin' Choir（バッハ・グルービン・コアー） 指揮：大貫 浩史
モテット第5番 BWV229 “来たれ、イエスよ、来たれ”	演奏：明治学院バッハ・アカデミー合唱団 指揮：樋口 隆一

● パネルディスカッション

テーマ「モテットの魅力と、その演奏方法について」

パネリスト（あいうえお順・敬称略）
宇野 徹哉 / 大貫 浩史 / 櫻屋敷 滋人 / 樋口 隆一 / 三澤 洋史

司会
加藤 浩子

● 5団体による合同演奏　指揮：三澤 洋史

モテット第6番 BWV230
“すべての異邦人よ、主を頌えまつれ”

通奏低音
花井 淑（オルガン）/ 西沢 央子（チェロ）
/ 櫻井 茂（コントラバス）

オルガン
花井 淑

チェロ
西沢 央子

コントラバス
櫻井 茂

バッハ・フェスト司会
加藤 浩子
三澤 洋史

〈バッハ・フェスト 各団チケット問い合わせ先〉

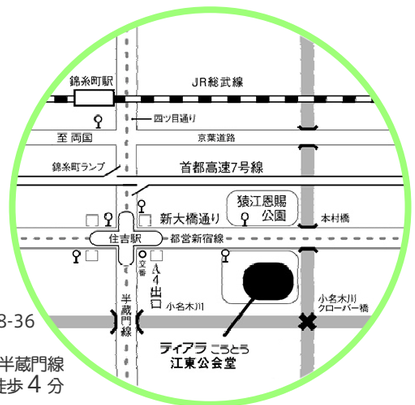
アンサンブルクライス
TEL 03-3268-5826／FAX 03-3268-6896
Mail masa0222@ensemble-kreis.com（吉田）

東京バロック・スコラーズ
TEL 090-6034-2138
Mail tbs-concert@misawa-de-bach.com

ガーデンプレイスクワイヤ
TEL 080-5069-5351
Mail gpc.info-management-01@gardenplacechoir.com

Bach Groovin' Choir（バッハ・グルービン・コアー）
Mail mail@pladia.co.jp

明治学院バッハ・アカデミー合唱団
TEL 090-7822-5035
Mail chorus_mg@yahoo.co.jp



ティアラこうとう
〒135-0002 東京都江東区住吉2-28-36
TEL 03-3635-5500
地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線
「住吉」駅 A4出口より 徒歩4分